

日米投信週次概況(2024年7月31日週)

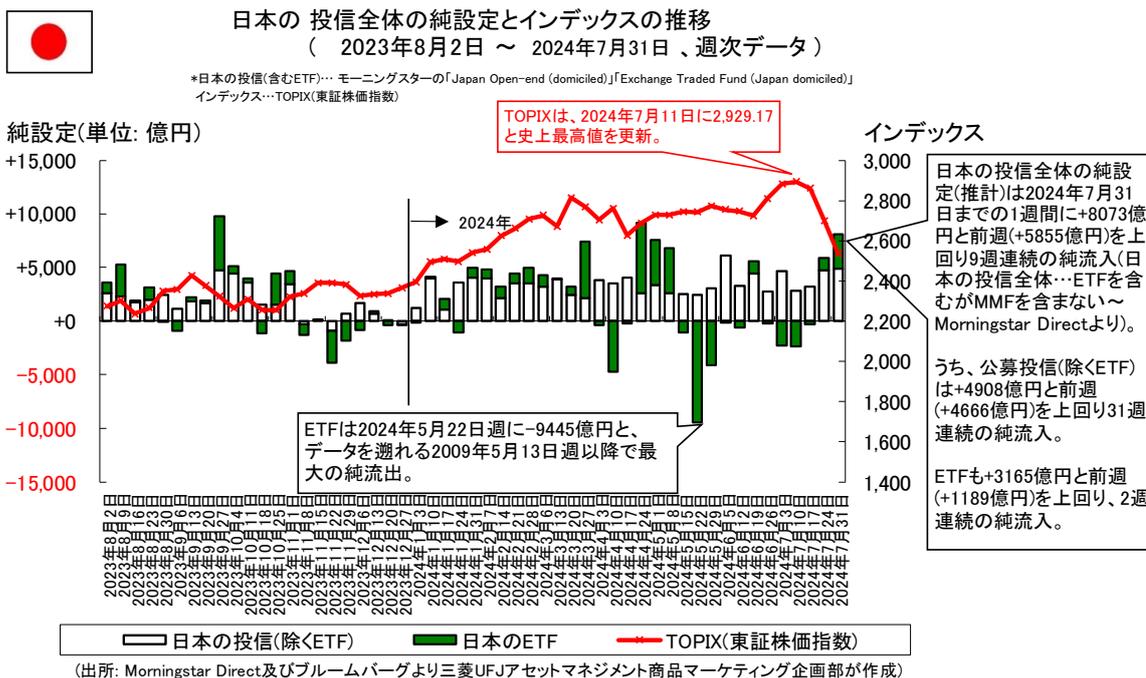
日本株が過去最大の下げ・上げを記録した時に日本株ファンドに流入！  
 米国ではハイテク・公益・ヘルスケアのファンドに流入！  
 インド株や日本株のファンドは流出

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)  
 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本株が過去最大の下げ・上げを記録した時に日本株ファンドに前週を上回る流入！ .....p.1
- 米国ではハイテク・公益・ヘルスケアのファンドに流入！ インド株や日本株のファンドは流出.....p.3

●日本株が過去最大の下げ・上げを記録した時に日本株ファンドに前週を上回る流入！

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年7月31日までの1週間に+8073億円と前週(+5855億円)を上回り9週連続純流入(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。うち、**公募投信(除くETF)は+4908億円と前週(+4666億円)を上回り31週連続純流入。ETFも同様に+3165億円と前週(+1189億円)を上回り、2週連続純流入。**



公募投信(除くETF)の最新7月31日週の純設定額+4908億円を分類別に見る。**純流入1~5位は日本株大型グローバル、北米株、グローバル株、グローバル株-日本を除く、日本株大型ブレンド。** 1~4位は前週(7月24日週)と顔ぶれは変わらず。前週5位インド株は11位。インドでインド(国内)への投資抑制要因となる上場株式のキャピタルゲイン税引き上げ、外国投資家に対する長期国債の投資制限が相次ぎ発表されている (2024年7月29日付投信調査レポートNo.419「インドがキャピタルゲイン税の引

き上げ！ インド株に投資するファンドの総経費率に注意！ 米国で小型グローバル株が純流入」~ [https://www.am.mufg.jp/report/investments/report\\_202429.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investments/report_202429.pdf)、2024年5月13日付日本版ISAの道 その40「日米印株式ファンドの総経費率を日米比較！世界で人気のインド株ファンドはNISA本家英国でも人気だが、キャピタルゲイン税/CGTで総経費率が4~6%台?!」~ [https://www.am.mufg.jp/report/investments/column\\_240513.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investments/column_240513.pdf)、2024年7月30日付ブルームバーグ「インド、外国勢の長期債アクセス制限-短期国債の流動性向上を図る」~ <https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-07-30/SHIBUYA10000> )o



日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-07-31現在

**\*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Japan Large-Cap Growth Equity	+109,481	+61,676	+102,631	6,062,139	日本株大型グロース
2	North America Equity	+92,148	+154,016	+584,323	18,995,813	北米株
3	World Equity	+62,259	+108,166	+383,067	16,008,346	グローバル株
4	World ex-Japan Equity	+43,037	+36,858	+124,796	11,029,469	グローバル株-日本を除く
5	Japan Large-Cap Blend Equity	+41,691	+19,675	+78,027	4,936,704	日本株大型ブレンド
6	World ex-Japan Bond	+41,318	+4,799	+59,230	3,097,352	グローバル債-日本を除く
7	Trading - Leveraged/Inverse Equity	+30,347	+9,365	+18,091	650,883	トレーディング・レバレッジド/インバース株
8	Moderately Aggressive Allocation	+16,070	+18,869	+55,493	4,357,943	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
9	Moderate Allocation	+13,354	+9,015	+31,558	3,355,178	モデレート・アセットアロケーション
10	Japan Large-Cap Value Equity	+12,909	+6,707	+38,293	1,442,965	日本株大型バリュー
11	India Equity	+10,695	+18,875	+87,040	3,118,350	インド株
87	Other Allocation	-2,112	-5,097	-14,402	719,566	その他アロケーション
88	Japan Bond - Long/Intermediate	-2,336	+14,055	+24,288	3,953,759	日本債-中長期
89	Risk Control Allocation	-2,451	-4,350	-12,499	1,249,639	リスクコントロール・アセットアロケーション
90	World Equity - JPY Hedged	-2,784	-3,013	-13,189	633,433	グローバル株-円ヘッジ
91	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-3,011	-4,653	-14,968	1,326,088	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
92	Emerging Global Bond - Local Currency	-4,478	+8	-5,104	282,276	エマージング・グローバル債-現地通貨
93	World REIT	-5,200	-7,825	-16,643	1,873,514	グローバルREIT
94	Japan Money Market	-5,281	-2,144	-5,480	35,570	日本マネー
95	Emerging Global Bond - USD	-6,292	-12,924	-18,148	213,101	エマージング・グローバル債
96	Japan REIT	-10,915	-5,830	-15,993	2,237,992	日本REIT
	全96分類の合計	+490,790	+473,961	+1,574,619	128,161,038	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+0.05	-4.19	-2.71		
	S&P500	+1.77	-2.87	-0.19		
	MSCI ワールド	+1.60	-2.53	+0.33		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

2024年8月5日(月)に日経平均が前営業日比-4451.28円/-12.40%(31458.42円)と過去最大の下げ幅を記録し、

(米国ブラックマンデー/Black Monday/暗黒の月曜日後に付けた)1987年10月20日の下げ幅-3836.48円/-14.90%を超えた(2024年8月8日

付日本版ISAの道その40「日経平均が過去最大の下げと上げ! 金融経済教育、行動コーチング等アドバイスが求められる時~ハイテク(半導体)株やインド株を含む多様な資産・投資期間・終了時期で積立投資の有効性を検証~」

(<https://www.am.mof.go.jp/report/investsite/>)。翌2024年8月6日に日経平均は+3217.04円/+10.23%(34675.46円)と過去最大の上げ幅を記録、

2024年8月7日(水)の日経平均は+414.16円/+1.19%(35089.62円)と2日連続上昇(2024年8月8日は-258.47/-0.74%の34831.15)。

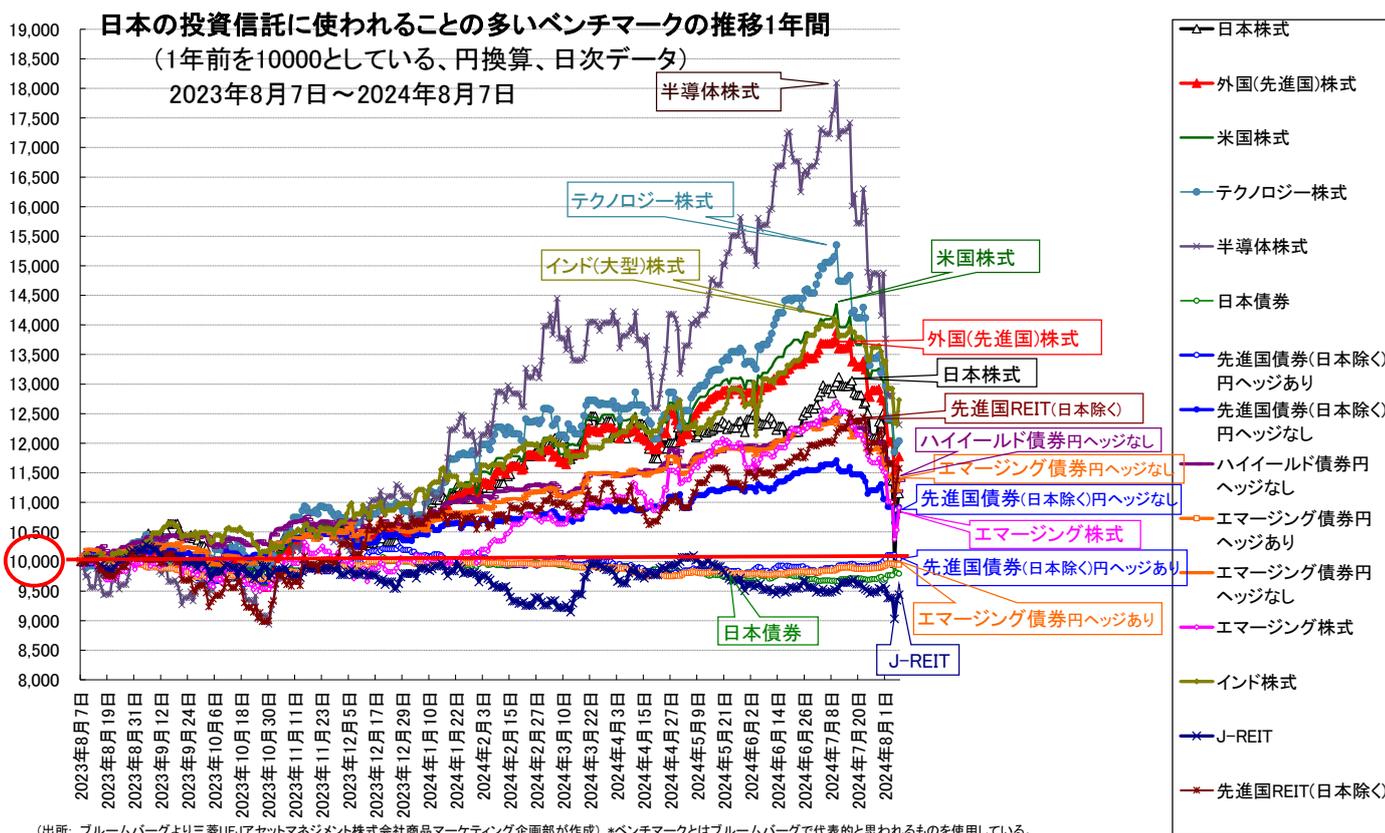
前頁で「9週連続純流入」と言ったが、これは、7月31日までの1週間のもの。8月7日までの1週間がMorningstar Directでわかるのは明日8月9日(金)の午後だ。ここでETFを使い、8月1日~6日の4営業日を見る。日銀によるETF買入れは終了したので、ほぼ機関投資家による設定交換(または解約)となる。日本籍のETFは日経225やTOPIX連動型など日本株投資が多いので日本株の投資動向として参考になろう。日本のETF全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年8月1~6日の4営業日に+4100億円と前週(+3165億円)を上回り3週連続の純流入。うち、純流入の大きいのは、日経平均レバレッジ/ブル・インデックス連動型、日経225型、TOPIX連動型ETFだった。

TOPIXが前営業日比-310.45ポイント/-12.23%(2227.15ポイント)と過去最大の下げ幅を記録した2024年8月5日、ある大きなTOPIX連動型ETFでプレミアムが+1.65%(市場価格が基準価額を上回る状態をプレミアム、基準価額を下回る状態をディスカウント)と2013年5月31日に付けた過去最大(2.82%)に次ぐレベルとなった(引け値ベース)。こうした場合、指定参加者(証券会社)が割高なETFを借り入れて空売り(2019年4月25日に日銀は証券会社などの市場関係者にETFを一時的に貸し出す制度を導入)、ETF売付け代金で割安なTOPIXの構成銘柄を買付け、それでETFの現物拠出設定をする裁定取引を考える。

TOPIXの構成銘柄は2024年7月11日に付けた2929.17(史上最高値)から2024年8月5日に付けた2227.15(2024年2月21日以来安値)まで-24%と下落していたので、買付けはしやすかったと思われる。巨額の現物抛出現設定となる可能性がある事を覚えておきたい(2024年7月8日付投信調査レポートNo.418「日本の日本株ETF巨額流出は裁定取引で米国の大型グロース(ハイテク)株ETF巨額流出は分散投資ルール(IRSの基準保有制限)?」~

[https://www.am.mof.go.jp/report/investsite/report\\_240708.pdf](https://www.am.mof.go.jp/report/investsite/report_240708.pdf))。2024年8月7日、以上に次いで大きなTOPIX連動型ETFでプレミアムが+2.10%過去最大となった(引け値ベース)。こちらも同様である。

なお、TOPIXは反発傾向で2024年8月7日に2489.21まで戻している(2024年8月8日は-27.51/-1.11%の2461.70)。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

## ●米国ではハイテク・公益・ヘルスケアのファンドに流入！ インド株や日本株のファンドは流出

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、2024年7月31日までの1週間に+125億<sup>ドル</sup>/約1.8兆円と7週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。このうち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-59億<sup>ドル</sup>/約8675億円と6週連続の純流出。一方、ETFは+184億<sup>ドル</sup>/約2.7兆円と15週連続の純流入となった(継続的なミューチュアルファン

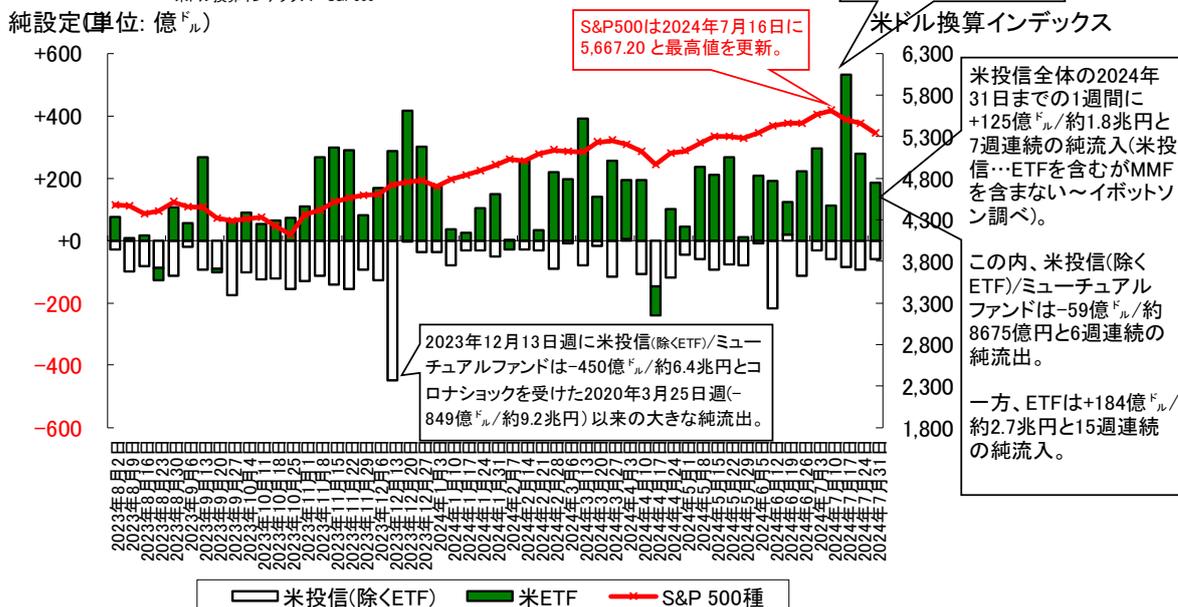
ドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」~ [https://www.am.mof.go.jp/report/investsite/column\\_241127.pdf](https://www.am.mof.go.jp/report/investsite/column_241127.pdf))

S&P500は7月31日に5427.13と直近7月16日の最高値(5,667.20)から-2.6%である(8月7日に5199.5と-8.3%)。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
(2023年8月2日～2024年7月31日、週次データ)

\*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。  
米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

\*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

その中、2024年7月31日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は+63億ドルと3週連続の純流入も減速傾向、セクター株は+1.5億ドルと2週ぶり純流入。外国株は-27億ドルと3週連続の純流出。債券は+80億ドルと9週連続の純流入。** オルタナティブは-17億ドルと5週ぶり純流出、コモディティは+10億ドルと6週連続の純流入で加速傾向。

投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、米国小型ブレンド株。** 7月中頃まで流入の続いていた米国大型グロース株は-30億ドル/約4330億円と2週連続で大幅な純流出となり、全122位最下位(←前週122位最下位)。一方、ハイテク株(米国テクノロジー株)は+9億ドル/約1260億円と前週(-8億ドル)から純流入に転じて9位(←前週119位)。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-07-31現在

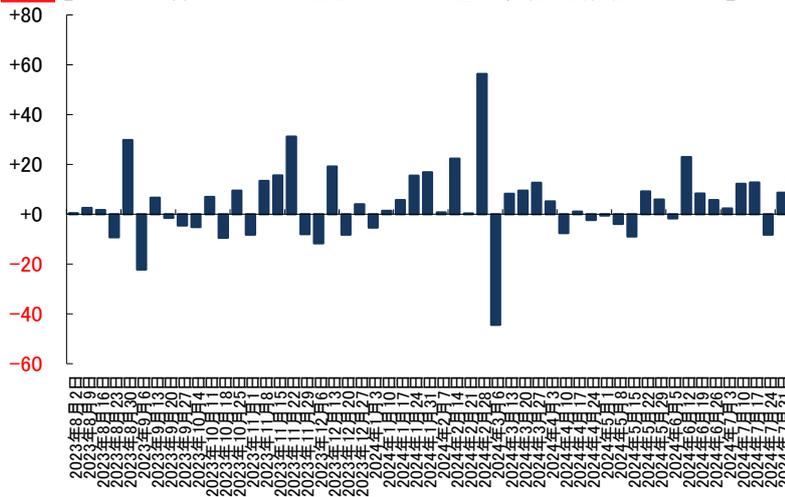
**\*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+6,709	+12,039	+26,392	3,913,641	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Trading--Leveraged Equity	+2,471	+2,273	+4,427	97,834	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
3	Small Blend	+1,806	+476	+10,193	471,402	米国小型ブレンド株
4	Intermediate Core Bond	+1,527	+1,496	+4,956	679,672	米国中長期コア債
5	Long Government	+1,214	-1,014	+3,188	136,507	米国長期国債(6年超)
6	Short Government	+1,110	+209	+1,507	74,498	米国短期国債
7	High Yield Bond	+991	+2,549	+7,534	285,063	米国ハイイールド債
8	Large Value	+933	-615	+1,992	1,416,718	米国大型バリュー株
9	Technology	+860	-818	+2,535	346,556	米国テクノロジー株
10	Intermediate Core-Plus Bond	+689	-158	+417	599,666	米国中長期コアプラス債
16	Utilities	+601	+309	+1,206	40,309	公益株
30	Health	+162	-350	+187	138,748	ヘルスケア株
93	India Equity	-72	-29	+133	21,275	インド株
112	Japan Stock	-315	+80	-211	38,713	日本株
113	Global Allocation	-379	-346	-1,252	267,200	グローバル・アセットアロケーション
114	Consumer Defensive	-503	+105	-218	27,195	ディフェンシブ消費財株
115	Trading--Inverse Equity	-510	-848	-675	9,988	トレーディングインバース株式(ベア型)
116	Ultrashort Bond	-662	+231	+2,053	315,996	米国超短期債
117	Communications	-720	-241	-757	34,577	通信株
118	Mid-Cap Growth	-777	-457	-2,171	327,344	米国中型グロース株
119	China Region	-1,039	-737	-2,040	23,942	中国株
120	Diversified Emerging Mkts	-1,412	+284	-1,180	560,731	グローバル・エマージング株
121	Digital Assets	-1,698	+1,073	+1,781	73,641	デジタル資産(ビットコイン等)
122	Large Growth	-2,958	-2,825	-3,141	2,107,474	米国大型グロース株
全122分類の合計		+12,534	+18,713	+81,249	19,420,438	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+0.05	-4.19	-2.71		
S&P500		+1.77	-2.87	-0.19		
MSCI ワールド		+1.60	-2.53	+0.33		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

【ハイテク株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】

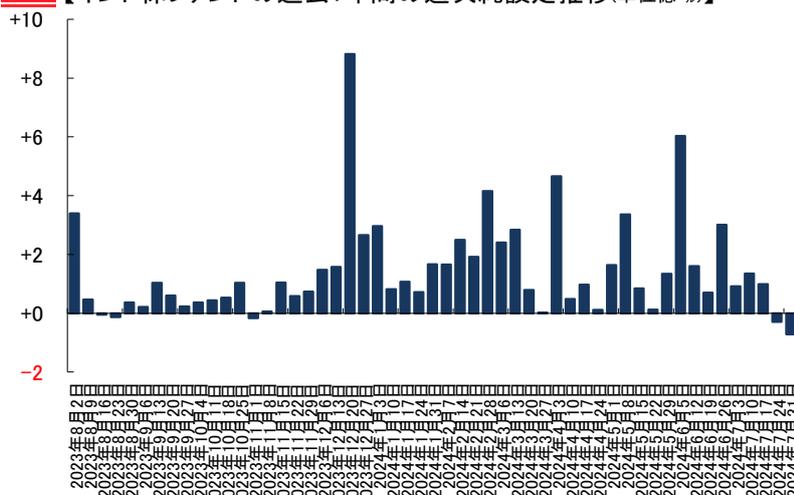


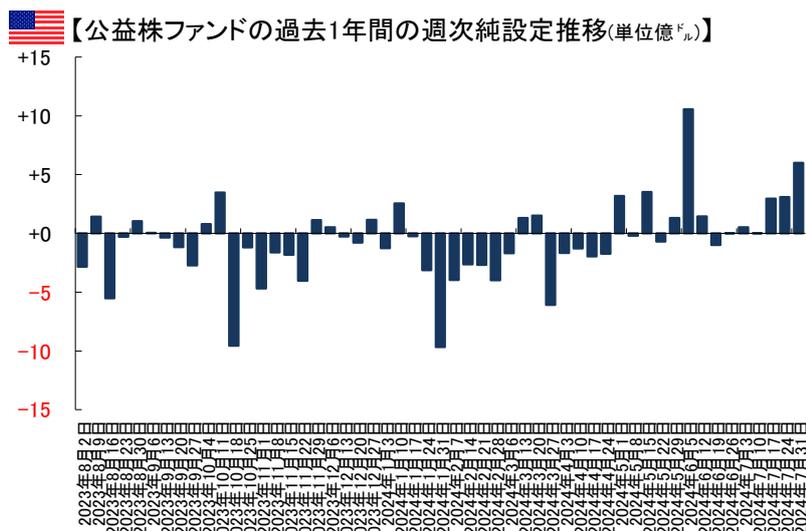
(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

前述の通り、インド株はインド(国内)への投資抑制要因となる上場株式のキャピタルゲイン税引き上げ、外国投資家に対する長期国債の投資制限が相次ぎ発表されている(2024年7月29日付投信調査レポートNo.419「インドがキャピタルゲイン税の引き上げ! インド株に投資するファンドの総経費率に

注意!! 米国で小型グロース株が純流入)~ [https://www.am.fujitsu.com/report/investigate/report\\_349729.pdf](https://www.am.fujitsu.com/report/investigate/report_349729.pdf) )。 **インド株は-7200万ドル/約105億円と2週連続の純流出となり、前週(-2900万ドル)から純流出拡大で93位(←前週78位)。** 日本籍のインド株ファンドは最新7月31日週に+107億円と減速しているものの純流入が続くが、米国籍のインド株ファンドは純流出傾向である。

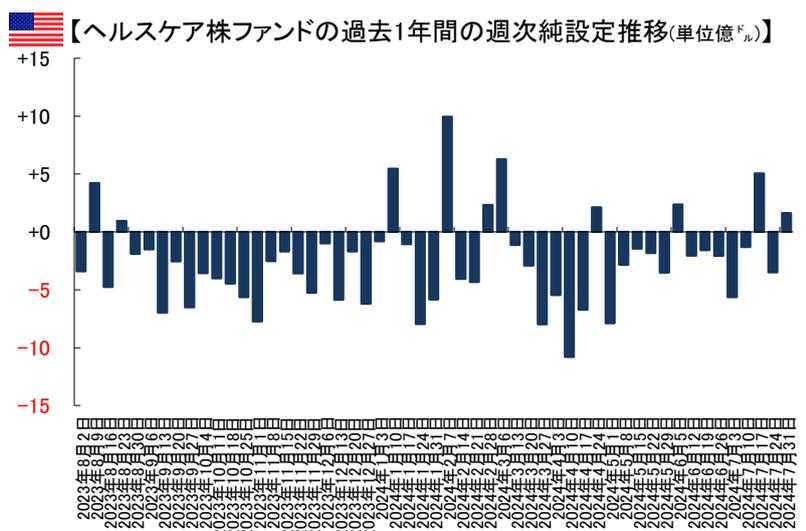
 【インド株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億 $\text{F}_\text{L}$ )】





(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

同様、ディフェンシブと呼ばれるヘルスケア株は+1.6億ドル/約237億円と前週(-3.5億ドル)から純流入に転じて、全122分類中30位(←前週109位)。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### 本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会